

頭鳥

〔武江產物志〕山鳥類 ゑなが綾瀬邊

〔本朝食鑑六林禽〕頭鳥訓加志良訓

集解狀似雀而色如鶉頭蒼赤頰亦有白斑腹白臆及兩脇有赤斑其聲短不清其味稍佳此亦能成群

〔和漢三才圖會四十三林禽〕頭鳥 正字未詳 俗云加志良

按加志良鳥狀似深山畫眉鳥而毛色如鶉頭黑柿色頰亦有白斑腹白臆及兩脇有赤斑能成群其聲短不清嘽時起毛冠其裏黑

〔百品考下〕硃頂紅 一名珠頂紅一名貯點紅一名千里紅一名老鎗雀 和名カシラ

百鳥圖贊有圖 張廷玉詩翻飛西復東珠頂鶴頭紅赤幘原無異朱纓訝許同辟塵光並耀照乘焰具融

欲覓牟尼寶何須到梵宮略○中

冬月多渡ル小鳥ナリ大サ雀ノ如ク全身ニ斑文アリ脊毛色淡綠色ニシテ黒ミアリ淡黒ノ斑

點アリ胸ヨリ腹ノ間色白シテ黒斑アリ兩翅并尾淡黒ニシテ白色ノ縁アリ鶯雀ノ如ク色黄

ナリ頂深紅色胭脂ヲ塗ルガ如シ故ニカシラト云

〔喚子鳥下〕粒餌小鳥の分 何にても水を入る

かしら 鳥がひ きびあはひへ米 すり五五分よし

大ききすゞめにて毛色すゞめにてたりむねに赤きごまふ有山がしら田がしらとて少しか

はりて二色あり山がしらをてりがしらといふ年を重ねてくる白のふわかりて見事になる嘽

りよし冬多く出る

鳥がしら 鳥がひ 鳥のごま すり五五分よし

大ききすゞめにちいさしげ色かしらにてつら又ほあかにたり冬まれに有めづらし

〔本朝食鑑六林禽〕深山鳥訓美也末

深山鳥